

国内学会/シンポジウム/ワークショップ

- 1) 吉村志穂・谷本陽一：ENSO に伴うインド洋の対流活動と亜熱帯北西部太平洋の大気変動との関係（2014.3.29 2014年度日本海洋学会春季大会）
- 2) 江淵 直人・阿部 泰人：L-バンドマイクロ波放射計による海面塩分の全球観測（2014.1.28 光・ミリ波・マイクロ波を用いた計測技術・解析モデルの開発とその応用に関する研究集会）
- 3) 佐伯立、三寺史夫、藤崎歩美、豊田威信、木村詞明、浮田甚郎：アイスバンド形成に関する理論と衛星観測の比較（2014.3.27 日本海洋学会春季大会）
- 4) 深町 康, 大島 慶一郎, 清水 大輔, 伊藤 優人, 岩本 勉之, 松村 義正, Eicken, H., Mahoney, A. R. : アラスカバロー沖チャクチ海ポリニヤにおける海氷・海洋の係留観測（2014.3.26 日本海洋学会 2014 年度春季大会）
- 5) ) 松村 義正, 大島 慶一郎 : 結氷過程の数値モデリング II（2014.3.27 日本海洋学会 2014 年度春季大会）
- 6) 阿部 泰人・谷本 陽一・長谷川 拓也・江淵 直人・花輪 公雄：赤道収束帯の南北変位により励起された海洋ロスビー波（2014.3.29 日本海洋学会）
- 7) 白井優、北出裕二郎、嶋田啓資、青木茂、深町康、大島慶一郎：ビンセネス湾沖南極底層水の流動特性について（2014.3.27 2014 年度日本海洋学会春季大会）
- 8) 松村 義正, 大島 慶一郎 : フラジルアイス生成及びその大気海洋熱交換への影響に関する数値モデリング（2014.3.26 日本海洋学会 2014 年度春季大会シンポジウム）
- 9) 森文洋、下山宏、渡辺力：可視化技術を用いた地表面近傍における乱流観測（2014.3.21 日本農業気象学会 2014 年全国大会）
- 10) 阿部祥子, 中村知裕, 三寺史夫 : 海底上ジェットの不安定（2014.3.28 2014 年度 日本海洋学会 春季大会）
- 11) 豊田威信、野村大樹：海氷コアサンプルから見た昭和基地周辺の定着氷の特性（2014.1.24 昭和基地周辺の海氷変動特性の解析に関する研究集会）
- 12) 漢那直也、豊田威信、西岡純：海氷融解が海洋表層の栄養環境と植物プランクトンの増殖に与える影響（2014.3.29 日本海洋学会春季大会）
- 13) 響田邦夫・岩坂直人・須賀利雄・岡英太郎・小松幸生・柳本大吾・植原量行・鋤柄千穂・川合義美・永野憲・井上龍一郎・久保田雅久・塚本修・根田昌典・鈴木直弥・近藤文義・立花義裕・谷本陽一・村山利幸・小橋史明・富田裕之・石井 雅男・藤田実季子：厳冬期黒潮続流南方域における大気海洋双方向作用 の高分解能観測-KH-14-1 航海速報・（2014.3.28 2014 年度日本海洋学会春季大会）
- 14) 野村大樹, Delille, B., Tison, J.-L., Dieckman, G. S., 吉川久幸, 大島慶一郎, 田村岳史：厳冬期南極海における海氷-大気間の二酸化炭素フラックス測定（2014.3.27 2014 年度日本海洋学会春季大会）

- 15) 美山透, 宮澤泰正, 三寺史夫: 高解像度海洋再解析データに見られる日本南岸の黒潮数十日周期変動 (2014.3.27 日本海洋学会 2014 年春季大会)
- 16) 青木邦弘: 残差平均手法における渦運動量フラックスの同定と黒潮続流への適用 (2014.3.30 2014 年度日本海洋学会春季大会シンポジウム)
- 17) 猪狩義貴, 谷本陽一: 水温前線によって変調された海上風が海洋に与える影響 (2014.1.10 2013 年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議)
- 18) 猪狩義貴, 谷本陽一: 水温前線によって変調された海上風が海洋混合層に与える影響 (2014.3.29 2014 年度日本海洋学会春季大会)
- 19) 豊田威信, アリソン・コホウト, アレクサンダー・フレイザー: 東南極域における海氷内部領域の氷盤分布特性と氷縁域との関わりについて (2014.3.27 日本海洋学会春季大会)
- 20) 吉村志穂・谷本陽一: 熱帯域の対流活動による気圧場への遠隔作用とそれに伴う大気と海洋の長期変動 (2014.1.10 2013 年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議)
- 21) 阿部泰人・谷本陽一・長谷川拓也・江淵直人・花輪公雄: 熱帯収束帯の南北変位により励起された海洋ロスビー波 (2014.3.29 2014 年度日本海洋学会春季大会)
- 22) 唐木達郎, 三寺史夫, 黒田寛: 北海道沿岸海洋の縦に立った密度構造と、それに伴うジェットについて (2014.3.29 日本海洋学会 2014 年春季大会)
- 23) 二橋創平, 大島慶一郎, 齊藤誠一: AMSR-E データを用いた日本海北部における海氷生産量と高密度水生成量の見積もり (2014.12.2 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 24) 松村 義正, 大島 慶一郎: Lagrangian model of frazil ice (2014.12.2 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 25) 守家衣利加, 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 高塚徹, 岩本勉之, Mahoney Andrew R., Jones Joshua, Eicken Hajo: Mooring measurements of sea-ice thickness in the Chukchi Sea off Barrow, Alaska (2014.12.5 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 26) 平野大輔, 深町康, 渡邊英嗣, 岩本勉之, Andrew Mahoney, Hajo Eicken, 清水大輔, 大島慶一郎, 田村岳史: アラスカ沖バロー沿岸ポリニヤの特徴 (2014.12.5 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 27) 守家衣利加, 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 高塚徹, 岩本勉之, Mahoney Andrew R., Jones Joshua, Eicken Hajo: チャクチ海アラスカバロー沖における海氷厚の係留観測 (2014.12.5 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 28) 北出裕二郎, 嶋田啓資, 白井優, 青木茂, 田村岳史, 深町康, 牛尾収輝, 大島慶一郎: ビンセンス湾沖南極底層水の特異性 (2014.12.2 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 29) 柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平: 夏季北極海における海氷・海洋アルベドフィードバック効果に関する研究 (2014.12.5 第 5 回極域科学シンポジウム)
- 30) 納口 泰輔, 三村 慧, 長谷部 文雄: 2000 年-2001 年に観測された成層圏水蒸気減少に関する考察 (2014.10.23 日本気象学会 2014 年秋季大会)

- 31) 藤原正智, 日比野敬司, S. K. Mehta, L. Gray, D. Mitchell, and J. Anstey : 9種の再解析データにおける大規模火山噴火に対する全球気候応答 (2014.4.30 日本地球惑星科学連合 2014年大会)
- 32) Ebuchi, N. : A proposal of mission combining active and passive microwave sensors and its applications for global water cycle (2014.4.29 日本地球惑星科学連合 2014連合大会)
- 33) 二橋創平, 大島慶一郎 : AMSR-E データを用いて見積もった南極海沿岸ポリニヤにおける海氷生産量 (2014.4.29 日本地球惑星科学連合 2014年大会)
- 34) 二橋創平, 大島慶一郎, 齊藤誠一 : AMSR-E データを用いた日本海北部における海氷生産量と高密度水生成量の見積もり (2014.9.15 2014年度日本海洋学会秋季大会)
- 35) 豊田 隆寛・藤井 陽介・倉賀野 連・阿部 泰人・江淵 直人・碓氷 典久・蒲池 政文 : Aquarius 衛星海面塩分データの全球海洋再解析へのインパクト (2014.9.16 日本海洋学会)
- 36) 江淵 直人・阿部 泰人 : Aquarius/SAC-D が観測した海面塩分の精度評価 (III) (2014.9.14 日本海洋学会)
- 37) Laine, A., Yoshimori, M., and Abe-Ouchi, A. : Arctic Amplification Feedback Analysis in CMIP5 Models: Land Surfaces, Arctic Ocean and Seasonality (2014.12.5 第5回極域科学シンポジウム)
- 38) Zhang, W., Ebuchi, N. : Drift Ice Detection by HF radar off Mombetsu (2014.12.10 研究集会「海洋レーダーを用いた海況監視システムの開発と応用」)
- 39) 張 偉・江淵 直人・深町 康・吉川 裕 : Estimation of wind drift current in the Soya Strait (II) (2014.9.14 日本海洋学会)
- 40) 山之口 勤, 土井 浩一郎, 青木 茂, 澁谷 和雄 : Grounding line 検出における多周波数 SAR 利用の試み (2014.12.3 第5回極域科学シンポジウム)
- 41) 末吉 哲雄, 大垣内 るみ, 吉森 正和, 羽島 知洋, 阿部 学, 大石 龍太, 岡島 秀樹, 齋藤 冬樹, 渡邊 真吾, 河宮 未知生, 阿部 彩子 : MIROC および MIROC-ESM を用いた過去 1000 年シミュレーションにおける北極域雪氷圏の変動 (2014.4.29 日本地球惑星科学連合大会)
- 42) 加藤 義仁, 草原 和弥, 松村 義正 : Pine Island Glacier における活発な底面融解に関する数値モデリング (2014.9.20 2014年度雪氷学会雪氷研究大会)
- 43) 稲飯 洋一, 塩谷 雅人, 藤原 正智, 長谷部 文雄 : RS80 ラジオゾンデ気圧バイアスに起因する高度誤差のオゾン・気温プロファイルへの影響 (2014.4.30 日本地球惑星科学連合 2014年大会)
- 44) Sherriff-Tadano, S., Abe-Ouchi, A., Yoshimori, M., Oka, A., and Chan, W.-L. : The influence of glacial ice sheets on Atlantic meridional overturning circulation through atmospheric circulation (2014.12.5 第5回極域科学シンポジウム)

- 45) Sherriff-Tadano, S., Abe-Ouchi, A., Yoshimori, M., Oka, A., Chan, W.-L. : The influence of glacial ice sheets on Atlantic meridional overturning circulation through atmospheric circulation change under glacial climate (2014.12.5 第5回極域科学シンポジウム)
- 46) Toyota, T., Massom, R., Lecomte, O., Nomura, D., Tamura, T. : What caused the significant snow depth observed off east Antarctica in late winter 2012? (2014.12.2 第5回極域科学シンポジウム)
- 47) 平野大輔, 深町康, 渡邊英嗣, 岩本勉之, Andrew Mahoney, Hajo Eicken, 清水大輔, 大島慶一郎, 田村岳史: アラスカ沖バロー沿岸ポリニヤの特徴 (I) (2014.9.16 2014年度日本海洋学会秋季大会)
- 48) 長谷部 文雄, 青木 周司, 森本 真司, 中澤 高清, 本田 秀之, 池田 忠作, 豊田 栄, 菅原 敏, 石戸谷 重之, 後藤 大輔, 林 政彦, 稲飯 洋一, 吉田 哲也, 飯嶋 一征, 田村 誠: インドネシアにおける成層圏大気サンプリング気球実験の計画 (2014.11.6 2014大気球シンポジウム)
- 49) 池川慎一、堀之内武: 金星雲頂における風速の推定 — 続報 — (2014.5.1 日本地球惑星科学連合 2014 年大会)
- 50) 松村 義正: 非静力学コア+オンライン粒子追跡による混相流の数値モデリング (2014.5.2 日本海洋学会 2014 年度秋季大会)
- 51) 北出裕二郎・嶋田啓資・白井 優・青木茂・田村岳史・深町康・牛尾収輝・大島慶一郎: ビンセネス湾沖ビンセネス湾沖南極底層水の特性 (2014.12.2 第5回極域科学シンポジウム)
- 52) 松村義正, 大島慶一郎: 粒子追跡法によるフラジルアイスの数値モデリング (2014.9.22 2014 年度雪氷学会雪氷研究大会)
- 53) 堀之内武: 夏季の東アジア・北西太平洋域の総観規模変動, 水蒸気輸送, 降水への上部対流圏の渦位擾乱の影響 (2014.5.21 日本気象学会)
- 54) 林歩夢・堀之内武: 夏季の東アジア・北西太平洋上の降水と水輸送の総観的な変動に対する上部対流圏の影響 (2014.10.23 日本気象学会)
- 55) 瀬崎歩美, 藤原正智: 過去 100 年間の台風とその背景場の解析 (2014.12.15-16 日 2014 年度台風セミナー)
- 56) 阿部 彩子, 大石 龍太, 吉森 正和: 過去千年の気候と二酸化炭素濃度のモデリングの初期的研究 (2014.4.29 日本地球惑星科学連合大会)
- 57) 吉森 正和, 阿部 彩子: 過去千年気候シミュレーションにおけるグリーンランドの気温変動 (2014.4.29 日本地球惑星科学連合大会)
- 58) 唐木達郎, 三寺史夫: 海底混合層に着目した宗谷暖流の傾圧構造について (2014.9.16 2014 年度日本海洋学会秋季大会)

- 59) 大島慶一郎：海氷がつくる海洋大循環とその変動（2014.10.9 国立大学附置研究所・センター長会議 第1部会シンポジウム「激変する地球環境の現状と未来像」）
- 60) 青木茂、田村 岳史：海洋・海氷・氷床システムの相互作用と変動（2014.9.9 第5回南極観測シンポジウム）
- 61) 美山透、三寺史夫：海洋再解析データに見られる準定常ジェットを通じた亜熱帯 - 亜寒帯海水交換（2014.9.16 2014年度日本海洋学会秋季大会）
- 62) 久保川厚：海洋循環中の波動と大規模風応力変動に対する海洋の応答：2.5層モデル（2014.10.16 京都大学数理解析研究所 RIMS 研究集会「非線形波動現象のメカニズムと数理」）
- 63) 松村 義正：海洋非静力学モデル開発の現状と今後の展望（2014.7.25 低温科学研究所研究集会 「海氷海洋モデリングの共通基盤構築に向けて」）
- 64) 横畠 徳太, 仁科 一哉, 木口 雅司, 井芹 慶彦, 末吉 哲雄, 吉森 正和, 山本 彬友, 本田 靖, 花崎 直太, 伊藤 昭彦, 眞崎 良光, 重光 雅仁, 飯泉 仁之直, 櫻井 玄, 岩瀬 健太, 高橋 潔, 江守 正多, 沖 大幹：気候変化によって生じるリスク連鎖の評価（2014.5.2 日本地球惑星科学連合大会）
- 65) 豊田威信、田村岳史：航空機を用いた海氷観測の紹介（2014.12.19 「航空機観測による大気科学・気候システム研究」研究集会）
- 66) 藤吉康志：高時間・空間分解能の船舶レーダを用いた降水エコーの微細構造観測（2014.4.28 日本地球惑星科学連合大会）
- 67) 村山昌平, 高村近子, 渡辺力, 三枝信子, 森本真司, 石戸谷重之, 近藤裕昭, 中澤高清, 青木周司, 宇佐美哲之：酸素安定同位体観測により推定された飛騨高山サイトにおける夜間の生態系呼吸に対する土壌呼吸の割合の季節的変動（2014.10.21 日本気象学会2014年度秋季大会）
- 68) 青木邦弘：残差平均流を記述する層圧重み付け平均理論の構築に向けて（2014.9.14 2014年度日本海洋学会秋季大会）
- 69) 幸田笹佳、豊田威信：室内実験における粒状海氷の生成過程について（2014.9.16 日本海洋学会秋季大会）
- 70) 谷平洋介：水温フロントが雲の形成に与える影響及び放射を介した海洋へのフィードバック（2014.12.7 2014年大気海洋相互作用に関する研究会）
- 71) 山之口 勤、土井 浩一郎、中村 和樹、青木 茂：多周波数 SAR による氷床-棚氷域モニタリング（2014.4.29 Japan Geoscience Union Meeting 2014）
- 72) 山之口 勤、土井 浩一郎、中村 和樹、青木 茂、澁谷 和雄：多周波数 SAR による氷床-棚氷域モニタリング（2014.11.6 リモセン学会第57回学術講演会）
- 73) 大島 慶一郎、深町 康、ウィリアムス ガイ、二橋 創平、田村 岳史、北出 裕二郎、平野 大輔、青木 茂、若土 正暁：第4の南極底層水：ケープダンレー底層水（2014.5.2 Japan Geoscience Union Meeting 2014）

- 74) 藤吉康志：冬の日本海およびオホーツク海上の飛行機観測（2014.4.29 日本地球惑星科学連合大会）
- 75) 草原 和弥・羽角 博康・Fraser D. Alexander・田村 岳史・青木 茂：東ウィルクスランド沖の雪氷-海洋相互作用に関する数値モデリング（2014.12.2 第5回極域科学シンポジウム）
- 76) 田村岳史, 大島慶一郎, Lieser, J. L., 豊田威信, 舘山一孝, 野村大樹, 中田和輝, Fraser, A. D., Jansen, P. W., Newbery, K. B., Massom, R. A., 牛尾収輝：南極海とオホーツク海におけるヘリ搭載型マイクロ波放射計による観測（2014.4.29 日本地球惑星科学連合 2014 年大会）
- 77) 青木 茂・水田 元太・佐々木 英治・笹井 義一・S.R. Rintoul・N.L. Bindoff：南極周極流域でのここ 30 年程度の水温・流軸位置変化傾向にみられる海盆間非対称性（2014.9.16 2014 年度海洋学会秋季大会）
- 78) 青木茂：南極大陸棚域における淡水供給 -その空間分布と近年の変化-（2014.5.2 Japan Geoscience Union Meeting 2014）
- 79) 松村 義正, 大島 慶一郎, 羽角 博康：南極底層水形成機構の高解像度モデリング（2014.5.2 日本地球惑星科学連合 2014 年大会）
- 80) 鈴木萌、北出裕二郎、青木 茂、馬場尚一郎、勝又勝郎：南大洋表層混合層の発達過程における水塊変動と熱塩フラックス（2014.12.2 第5回極域科学シンポジウム）
- 81) 長谷部 文雄, 稲飯 洋一, 柴田 隆, 林 政彦, 塩谷 雅人, 西 憲敬, 藤原 正智, 宮崎 和幸, 荻野 慎也, 鈴木 順子, 清水 健作, 杉立 卓治, 三村 慧, 高島 久洋, 澤田 岳彦:熱帯対流圏界層における力学・化学過程の解明 -2014 年 Biak 観測-（2014.11.6 2014 大気球シンポジウム）
- 82) 尾関俊浩・安達聖・青木茂：飛沫着氷の酸素同位体比の測定（2014.9.21 雪氷研究大会 2014）
- 83) シェリフ多田野 サム, 阿部 彩子, 吉森 正和, 陳 永利：氷期に氷床が大気循環を通して大西洋子午面循環に与える影響（2014.10.23 日本気象学会秋季大会）
- 84) シェリフ多田野 サム, 阿部 彩子, 吉森 正和, 陳 永利：氷期に氷床が大気循環変化を通して大西洋子午面循環に与える影響（2014.4.29 日本地球惑星科学連合大会）
- 85) 阿部 彩子, 大垣内 るみ, 高橋 邦夫, 多田野シェリフ サム, 齋藤 冬樹, 岡 彰, 吉森 正和：氷期間氷期の海洋深層循環と氷床変動のモデリング（2014.12.5 第5回極域科学シンポジウム）
- 86) 山本 正伸, 加 三千宣, 守屋 和桂, 吉森 正和, 阿部 彩子, 竹村 恵二, 池原 研, 小端 拓郎：別府湾堆積物コアの古水温解析にもとづく過去 2900 年間の太平洋十年規模変動の復元（2014.9.6 第四紀学会）

- 87) 中野渡拓也, 吉成浩志, 内本圭亮, 松田淳二, 三寺史夫, 中村知裕, 西岡純, 津旨大輔, 三角和弘, 羽角博康, 若土正暁: 北太平洋物質循環モデルの結合～鉄-栄養塩実験～ (2014.9.16 2014年度日本海洋学会 秋季大会)
- 88) 大畑有, 白岩孝行, 豊田威信: 網走湖における湖水形成過程と氷厚推移 (2014.12.2 第5回極域科学シンポジウム)
- 89) 大畑有, 白岩孝行, 豊田威信: 網走湖における氷厚推移 湖水熱フラックスの推定 (2014.9.21 雪氷研究大会)
- 90) 松村義正, 大島慶一郎: 粒子追跡法によるフラジルアイスの数値モデリング (2014.9.22 2014年度雪氷学会雪氷研究大会)